

1 ひたちなか市戦没者追悼式



※写真提供 ひたちなか市

開催概要（平成26年度）

歳事名：ひたちなか市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：那珂湊総合福祉センター（しあわせプラザ）ふれあい交流館ホール
 住所：茨城県ひたちなか市南神敷台17-6
 （ひたちなか海浜鉄道 那珂湊駅より 茨城交通バス「しあわせプラザ前」下車 徒歩1分）
 日時：平成26年8月20日（水） ※例年8月開催
 参列者数：約300人
 連絡先：ひたちなか市 福祉部福祉事務所 社会福祉課 029-273-0111（代表）

式次第（平成26年度）

1. 開式の辞…ひたちなか市副市長
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 式辞…ひたちなか市長
5. 追悼の辞…ひたちなか市議会議長、ひたちなか市遺族会会長、茨城県知事、茨城県遺族連合会理事長、茨城県議会議員
6. 献花
7. 閉式の辞

式辞（平成26年度）

本日ここに、ご遺族並びにご来賓各位のご臨席を仰ぎ、平成26年度ひたちなか市戦没者追悼式を挙行するにあたり、ひたちなか市民を代表いたしまして、式辞を申し上げます。

先の大戦において、祖国の将来と家族の平安を案じつつも国難に殉じられた戦没者、並びに艦砲射撃や空襲による戦禍の犠牲となられた死没者、併せて1812柱の本市関係の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

また、ご遺族各位におかれましては、深い悲しみと苦しみの中、幾多の困難を乗り越えながら、我が国の平和と繁栄のためにご尽力されておりますことに対し、衷心より敬意と感謝の意を表する次第であります。

先の大戦の終結から69年の歳月が過ぎ、我が国は御霊のご加護と国民の英知と努力により、平和国家として目覚ましい発展を遂げてまいりました。

我がひたちなか市も、豊かな自然環境と、ものづくりを基本とする産業力や、幅広い分野での市民力を活かしつつ、大いなる発展可能性を有するまちとして、着実に歩みを続け、本年誕生20周年を迎えます。

我が市は、行政、市民を挙げて、東日本大震災からの本格的な復興と将来に向けての新たな飛躍を目指しているところでありますが、この節目の年にあたり、改めて、今日の平和や豊かさが、先人達の絶え間ない努力の上に成り立ち、如何に尊いものであるかを、痛感しているところであります。

一方、世界に目を向ければ、国家や地域、民族間等の緊張関係が絶えることなく、それらがしばしば紛争やテロへと繋がり、世界平和の実現に大きな脅威となっております。

私たちは、こうした現実に向かってしっかりと目を向け、国際社会の相互理解に努めながら、戦争等の悲劇を再び繰り返すことのないよう、平和の尊さを子々孫々にまで伝えていくことを、ここに改めてお誓い申し上げます。

そして、かけがえない郷土ひたちなか市のさらなる発展こそが、御霊に報いる道であると考え、今後とも市政において、自立と協働を基本理念として、「誰もが暮らしたくなる、元気なひたちなか市」の実現を目指していくことを、決意する次第であります。

終わりに、御霊の安らかなるご冥福と、ご遺族の皆様のご多幸、ご健勝を心からお祈り申し上げます。式辞といたします。

平成26年8月20日
 ひたちなか市長 本間 源基

2 城里町戦没者追悼式



※写真提供 城里町

開催概要（平成26年度）

歳事名：城里町戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：コミュニティセンター城里
 住所：茨城県東茨城郡城里町石塚1428-1
 （JR水戸駅より 茨城交通「城里町役場入口」下車 徒歩5分）
 日時：平成26年10月29日（水） ※例年10月開催
 参列者数：約100人
 連絡先：城里町 健康福祉課 029-288-3111（代表）

式次第（平成26年度）

1. 開式の辞
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 式辞…城里町長
5. 追悼の辞…城里町議会議長、茨城県知事、茨城県遺族連合会理事長、城里町遺族会会長
6. 献花
7. 閉式の辞

式辞（平成26年度）

本日ここに、平成26年度城里町戦没者追悼式を、挙行するにあたり町民を代表して、謹んで敬弔の誠を捧げます。

今年は先の大戦が終結して69年目を迎えました。祖国のために殉じられた872柱の御英霊に対し心から哀悼の誠を捧げ城里町民の福祉向上にむけて決意を新たにします。

いま招魂の英霊872柱は国家の大事に際し勇躍征途につかれ筆舌に尽くし難いあらゆる苦難に耐え一意専心祖国護持の大任を果たしたのでありますが、武運つたなく護国の御柱として散華されたのであります。

ただただ、哀惜の情にたえません。しかしながら各位の崇高なる御精神の賜により国家の滅亡をまぬがれ今日かくのごとき経済、文化、教育等あらゆる復興をみる事ができましたことを思うとき、各位の尊い犠牲に対し心から感謝の念を禁じ得ないものがあります。

また、御家族各位には、一家の中心を失い物心両面の困窮の中にも、あらゆる障害をのりこえ雄々しく精進されて激動の昭和が終わり、平成へと大きく発展を遂げながら新しい時代を迎え得ましたことは、私たちの大きな感激でありまして、及ばずながら今後もこれまでと変わることなく町民相携えて御遺族の方々を温かく御護りする覚悟を新たにします次第でございます。

本年度は城里町が発足して10年目を迎え、町民福祉の増進と文化生活的の向上など新しい時代を創造しながら大いにみるべきものがあり、町政の進展もまた目覚ましいところでありまして。

2万有余の町民が心一つにして決意を新たに、町政発展に渾身の努力を傾注し、尊い各位の犠牲に御報いする覚悟であります。

今後とも御遺族、御一家の御繁栄と御両親、御兄弟に対しては、百歳の寿ぎも永としない御加護をお願いして敬弔の誠を捧げ、限りなき御冥福を御祈り申し上げますと共に、御遺族の 皆様の御多幸と御健勝を請い願ひ追悼の式辞といたします。

平成26年10月29日
 城里町長 上遠野 修